

いつも じないところへ たひするきぶんだった

宇都宮美術館
Utsunomiya Museum of Art

※身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者（一名）は無料。※宇都宮市在住または在学または在籍の高校生以下は無料。宮っ子の誓いカードまたは学生証をご提示ください。※毎月第3日曜日（7月20日、8月17日、9月21日）は「家族の日」です。高校生以下の方を含むご家族が来館された場合、企画展観覧料が一般、大学生は半額、高校生以下は無料となります。



開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）／休館日：月曜日（7月21日、8月11日、9月15日は開館）、7月22日（火）、8月12日（火）、9月16日（火）
観覧料：一般1200円（960円）、大学生・高校生1000円（800円）、中学生・小学生800円（640円）※（ ）内は20名以上の団体料金
主催：宇都宮美術館、朝日新聞社／協力：偕成社、積水ハウス、宮本武典／展覧会公式サイト <https://araiyoji-nb.exhibit.jp>

2025.7.20 SUN - 9.23 TUE

（どこ、何処、どこ、どこでもない道を行くキミと。）2025年 ©Arai Ryoji



new born / ARAI RYOJI - ENDLESS UNKNOWN JOURNEY SENSATION -

new born 荒井良二

new born

荒井良二

荒井良二（1956—）は、2005年に日本人として初めてアストリッド・リンドグレン記念文学賞を受賞するなど、国内外で高い評価を受けるアーティストです。彼の幅広い活動は、絵本だけでなく、絵画、音楽、舞台美術にまでおよびます。本展では、絵画や絵本原画、イラストレーション、新作のインスタレーションや愛蔵の小物たちを通して、荒井良二の「いままで」と「これから」をご紹介します。展示空間の特徴を活かした会場構成は作家自身がおこない、全国を旅する本展覧会は会場ごとに新たな表情を見せます。まさに旅をする時のように、先が見えない不安や恐れをも楽しみに変えてしまうような気持ちで活動の幅を広げてきた荒井良二。彼はこれまでどんなところを旅して、次はどこへ出かけていくのでしょうか。ここからまた新しい荒井良二が誕生＝new bornする展覧会を、ぜひご体感ください。

『子どもたちはまっている』原画 2020年 垂紀書房



写真・志津康平



『あさになったのでまどをあけますよ』原画（表紙）2011年 備成社

『流れ星スパーク奏でよギター』2022年

いつもしらないところへたびするまぶんだった

荒井良二 | ARAI RYOJI

1956年山形県生まれ。『たいようオルガン』でJBBY賞を、『あさになったのでまどをあけますよ』で産経児童出版文化賞・大賞を、『きょうはそらにまるとつき』で日本絵本賞大賞を受賞するほか、2005年にはアジアで初めてアストリッド・リンドグレン記念文学賞を受賞するなど国内外で高い評価を得る。2012年NHK連続テレビ小説「純と愛」のオープニングイラストを担当。ライブペインティングやワークショップのほか、作詞・作曲やギターも演奏するなど音楽活動もおこなっている。2018年まで「みちのおくの芸術祭山形ピエンナーレ」の芸術監督を務め、さらにその活動の幅を広げている。

関連イベント

●「荒井良二と物語を汲み出す人」

荒井さんと一緒に「物語をつくる」プログラムです。インスタレーション《new born 旅する名前のない家たちを ぼくたちは古いバケツを持って追いかけて 湧く水を汲み出す》をモチーフに、参加者全員で物語文を編んでいきます。／講師：荒井良二、宮本武典（キュレーター、東京藝術大学准教授）／日時：8月2日（土）午後2時～6時／会場：宇都宮美術館 講義室、展示室2・3／定員：25名／対象：中学生以上／申込：当館HPで詳細をご確認のうえ、7月20日までにご応募ください。

●ライブペインティング

「Good bye, 雷（らい）summer」

宇都宮美術館の講義室を舞台に、荒井さんのライブペインティングと、シンガーソングライター寺尾紗穂さんのピアノ演奏が響きあう。／出演：荒井良二、寺尾紗穂（シンガーソングライター、エッセイスト）／日時：8月30日（土）午後2時～3時30分（終了予定）／会場：宇都宮美術館 講義室／定員：135名／申込：当館HPで詳細をご確認のうえ、8月9日までにご応募ください。

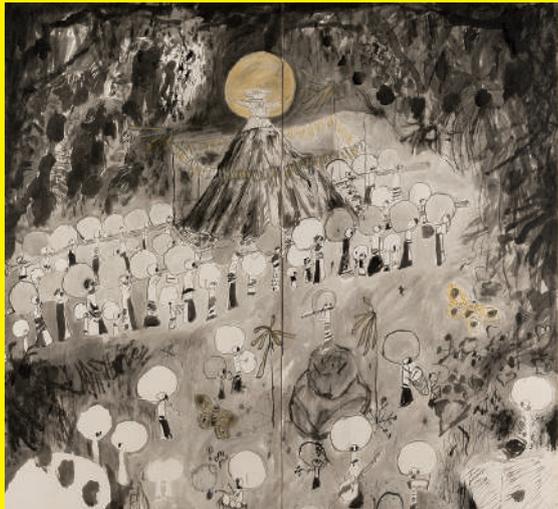


●担当学芸員によるギャラリートーク

日時：8月16日（土）、8月23日（土）、9月13日（土）、9月20日（土）各回午後2時～／申込不要、展覧会チケットをお求めのうえ中央ホールにお集まりください。

《誰も知らない山の神さまちゃん》2018年

作品全て©Arai Ryoji



《new born 旅する名前のない家たちを ぼくたちは古いバケツを持って追いかけて 湧く水を汲み出す》より 2023年／写真：池田晶紀



《げんしくん》2014年

宇都宮美術館
ホームページ



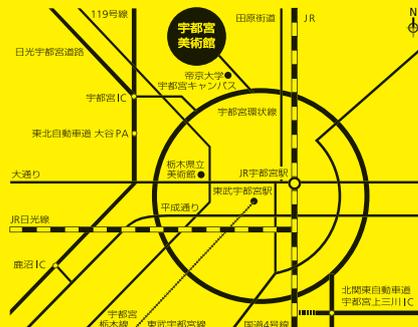
栃木県立美術館の 親愛なる友フィンセント 動くゴッホ展

— デジタルアートは実物を超えるのか —
2025年 6月28日（土）～9月7日（日）／詳細は栃木県立美術館へお問い合わせください。TEL. 028-621-3566

【交通のご案内】●JR東京駅から東北新幹線「JR宇都宮駅」下車（約50分）／●JR宇都宮駅西口5番バス乗り場から関東バス「豊郷台・帝京大学経由宇都宮美術館」行き終点下車（約25分）／●東北自動車道「宇都宮インターチェンジ」から約10km、「鹿沼インターチェンジ」から約14km／●北関東自動車道「宇都宮上三川インターチェンジ」から約19km

宇都宮美術館
Utsunomiya Museum of Art

〒320-0004 栃木県宇都宮市長岡町1077番地
TEL.028-643-0100（代）/FAX.028-643-0895
ホームページ・アドレス ≡ <http://u-moa.jp>



2025.7.20 SUN — 9.23 TUE 宇都宮美術館

